

豪雨・土砂災害



©やなせたかし

雨の強さと降り方

1時間雨量(ミリ)	人の受けるイメージ	人への影響	屋外の様子	災害発生状況
10以上～20未満	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	地面一面に水たまりができる	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要
20以上～30未満	どしゃ降り			側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる
30以上～50未満	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる	道路が川のようになる	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要 都市では下水管から雨水があふれる
50以上～80未満	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある マンホールから水が噴出する 土石流が起こりやすい 多くの災害が発生する
80以上～	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる			雨による大規模な災害の発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要

土砂災害による被害の種類

勾配の急な山や崖の多い日本は、土砂災害が発生しやすい地形的な特徴をもっています。危険を察知するためには、事前に土砂災害に関する正しい知識と自分が住んでいる土地についての知識を得ておくことが大切です。

急傾斜地(がけ崩れ・山崩れ)



地面にしみ込んだ土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる。日本でも最も多い土砂災害で、人家の近くでも発生するため、逃げ遅れて犠牲になる人も多い。

土石流



谷や斜面にたまった土や石、砂などが、大雨による水と一緒に一気に流れ出す。強大な威力と圧倒的なスピードで、進行方向にあるものを次々とのみ込み、壊滅させていく。

地すべり



脆弱な地質の土地に豪雨が降り、ゆるくなった斜面の一部が地下水の影響と重力で下方へと移動する現象。一度に広範囲で発生するために、住宅や道路、鉄道などに大きな被害をおよぼす。

土砂災害の恐れのある危険箇所は安芸市に289箇所(急傾斜地崩壊危険箇所が195箇所、土石流危険渓流(流域)が94箇所)あります。さらに、土砂災害警戒区域(土石流1箇所、急傾斜地の崩壊6箇所)7箇所があります。 ※平成25年2月現在

土砂災害警戒情報

平成19年6月1日より開始

発表対象地域

土砂災害警戒情報は、市町村単位で発表します。

発表及び解除

土砂災害警戒情報の内容は、文章と図を組み合わせたものです。

土砂災害警戒情報文の内容

発表及び解除は、それぞれの項目のいずれかに該当する場合に高知県と高知地方気象台が協議して行います。

高知県ホームページ

<http://www.pref.kochi.lg.jp/>

気象庁ホームページ

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>